

一関工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	総合英語 I A (文法)	
科目基礎情報							
科目番号	0002			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	未来創造工学科 (一般科目)			対象学年	1		
開設期	前期			週時間数	4		
教科書/教材	DUAL SCOPE ENGLISH GRAMMAR in 27 Stages(数研出版)						
担当教員	千葉 佑介,寺嶋 大輔						
到達目標							
高等学校レベルの英文法の基礎が理解できる。							
【教育目標】 A							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
基本的な文法項目を理解することができる		基本的な文法項目を理解し十分に運用することができる		基本的な文法項目を理解し運用することができる		基本的な文法項目を理解し運用することができない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を伸ばすとともに、外国語を通して国際的な視野を身につけることを目指す。						
授業の進め方・方法	教科書で各項目の内容を説明した後、問題の演習を行う。						
注意点	【事前学習】 すべての問題に解答を試みてから授業に臨むこと。辞書を常に手元に置き、載っている情報を最大限に活用し、知識の定着に努める。 【評価方法・評価基準】 試験結果 (100%) で評価する。詳細は第1回目の授業で告知する。下記到達目標に示された項目に関する理解の程度を評価する。総合成績60点以上を単位修得とする。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	1 文の種類		肯定文と否定文, 疑問文, 感嘆文, 命令文が理解できる		
		2週	2 文の組み立て (1)		主語＋動詞, 主語＋動詞＋補語, 主語＋動詞＋目的語, 自動詞と他動詞が理解できる		
		3週	3 文の組み立て (2)		主語＋動詞＋目的語＋目的語, 主語＋動詞＋目的語＋to / for ～, 主語＋動詞＋目的語＋補語, There ＋ be 動詞＋名詞が理解できる		
		4週	4 時制 (1) － 1		現在形, 現在進行形, これからすることを表す現在形と現在進行形が理解できる		
		5週	5 時制 (1) － 2		過去形, 過去進行形, 未来のことを表す表現, 時や条件を表す副詞節で使う現在形が理解できる		
		6週	6 完了形 (1)		完了・結果を表す現在完了形, 経験を表す現在完了形, 継続を表す現在完了形, 現在完了形と過去形の使い分けが理解できる		
		7週	7 完了形 (2)		完了・結果, 経験を表す過去完了形, 継続を表す過去完了形, 過去よりも前のことを表す過去完了形 (大過去), 完了・結果, 経験や継続を表す未来完了形が理解できる		
		8週	8 助動詞 (1)		能力・可能 (can / be able to), 可能性 (can / could), 許可・依頼 (can / could), 許可・推量 (may) が理解できる		
	2ndQ	9週	9 助動詞 (2)		義務 (must / have to), 確信 (must / cannot), 助言・忠告 (should / ought to / had better), 推測 (should / ought to) が理解できる		
		10週	10 助動詞 (3)		意思・推測 (will), 依頼・提案 (Will you ...? / Shall I ...?), 過去の習慣 (would / used to), 〈助動詞＋ have ＋過去分詞〉が理解できる		
		11週	11 態 (1)		受動態の基本が理解できる		
		12週	12 態 (2)		助動詞の基本形, 助動詞を使う受動態, 進行形と完了形の受動態, 疑問詞を使う受動態の疑問文, 前置詞に注意すべき受動態の表現		
		13週	13 不定詞 (1)		主語や補語になる不定詞, 他動詞の目的語になる不定詞, 不定詞の主語の示し方と否定語の位置, 疑問詞に続ける不定詞が理解できる		
		14週	14 不定詞 (2)		副詞用法, 形容詞用法, 形容詞＋不定詞が理解できる		
		15週	15 不定詞 (3)		完了不定詞, 不定詞の進行形・受動態が理解できる		
		16週	期末試験		前期の内容が理解できる		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	1	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	1	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	1	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	1	前14
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	1	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	1	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	1	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	1	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	1	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	1	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	1	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	1	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	1	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	1	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	1	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	1	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	1	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	1	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	1	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	1	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	1	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	1	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	1	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	1	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0